



南越前町 議会だより

2019.2
26号



Contents

- ② 年頭のご挨拶・12月定例会
- ③ 決算特別委員会
- ④ 主な議会活動報告
- ⑤ ▶ ⑪ 一般質問
- ⑫ あなたの出番です・編集後記



年頭のご挨拶

南越前町議会

議長 井上 利治



「御回杯」を獲得し、最高の栄誉をもたらしてくれました。2年後の東京オリンピック・パラリンピックでも活躍を期待しています。

さて、今年は天皇陛下の「退位に伴う「退位礼正殿の儀」が4月30日に、皇太子殿下の新天皇の即位に伴う「即位礼正殿の儀」が10月22日に執り行われます。そして、約30年続いた「平成」の時代は終わり、5月1日に新たな年号に変わることで、国民にとって大きな節目で記念すべき年であつます。国民にぞんざに祝ぐ」とがじめほおよひに心より念願いたします。

また、県民のリーダーと代表を決める、知事・県議会議員選挙が4月7日に執行されます。県内、町内には課題が山積しておつまみで、県民の負託に応えていただけよう期待しております。

結びに、新しい年が町民の皆さんにとって、希望あふれる実り多き年となりますことを心より祈念申し上げます。年頭のご挨拶と申せました。

また、50年ぶりの福井国体も県民の総力を結集した結果「天皇杯」

12月定例会

請願・陳情の審査結果

国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情は「不採択」としました。

12月10日から14日までの5日間の会期で開催され、一般会計補正予算、南越前町地区集会所の設置及び管理に関する条例の一部改正についてなし13議案を上程しました。

初日の本会議では、10議案を関係ある常任委員会に付託しました。

最終日の15日には採決が行われ、10議案を原案のとおり可決しました。また、継続審査となっていた平成29年度名会計決算を認定したほか、年度名会計決算を認定したほか、南越前町教育委員会川崎美智子氏(西大道)の任命について同意しました。

初日の10日には、町政について7人が一般質問を行いました。

常任委員会報告

(12月11日 開催)

▼▼ 総務文教常任委員会

議会議員選挙で、新人6名を含む14名が当選する事が出来ました。これからも町民の皆さまの負託に応えられるよう、全力を傾注してまいります。また、所存で「やまとまつり」と「理解と」指導を賜りました。お願い申し上げます。

また、50年ぶりの福井国体も県民の総力を結集した結果「天皇杯」

▼▼ 産建厚生常任委員会

(12月12日 開催)

産建厚生常任委員会に付託された一般会計補正予算など7議案について、所管する説明者の出席を求め、慎重に審査を行い、原案のとおり可決しました。

特別委員会報告

(12月14日 開催)

▼▼ 原子力安全対策特別委員会

継続審査中の「エネルギー基本計画に原子力発電所の新增設・リフレースを明記する」を求める意見書の提出に関する陳情」は、更に調査を要するとの判断し、引き続き休会中の継続審査としました。

総務文教常任委員会に付託された一般会計補正予算のほか、条例の一部改正についてなし4議案について、所管ことに説明者の出席を求めて、慎重に審査を行い、原案のとおり可決しました。



▼▼決算特別委員会

9月定例会で付託を受けた平成

29年度名会計決算認定の審査を

10月2日から11月14日の期間中の

5日間開催し、原案どおり認定し

ました。審査の過程で特に議論し

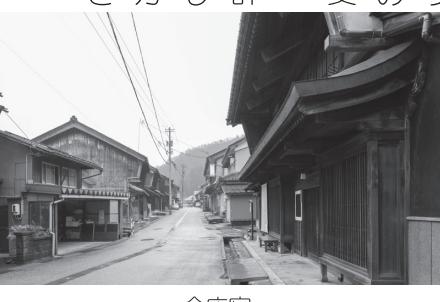
た事項を報告します。

1 都市再生整備事業で、今庄宿

のまちなみを整備し、団体観光客

の誘客を図つていねが、利用者に不

便をきたすなど多くの課題が見受けられ



今庄宿

回答 当該事業は完了したので検証作業を実施している。検証での課題を住民や関係団体と共有し、解決に向けて取り組む。最終年度に整備した施設は一定期間を経てから運用方法も含めて検討する。

2

税の賦課徴収については、税の公平性のもと適正に行つていねが、更なる現年分の徴収率向上と滞納額圧縮に努められた。

回答 税負担の公平・公正を保つため、適切な催告による早期納付や納期内納付を促進し、現年分の徴収率向上を図る。また、預貯金などの財産調査や差し押さえによる滞納処分を進めるとともに、県滞納整理機構と連携を図り、滞納額の圧縮に努める。

3 町内のJR駅周辺駐車場の運営が統一されていない。利用者の利便性や負担など不公平感が強いので、住民の不満解消に努められたい。

回答 駐車場は、設置経緯がそれぞれ異なっている。今庄駅・湯尾駅周辺は、付近住民の車庫代わり駐車が目立つとの指摘もある。JR利用者の利便性を確保するために実態を調査し、無断駐車があれば指導する。また、今後の運営方針を明確にして住民の理解を促す。

4 河野小体育館に放射線防護対策施設として、クリーンエアシエルターエアクリーナー等を整備した

が運用に不安がある。

早急に運用を検討されたい。

回答 マコアルの作成と訓練を検討されたい。



放射線防護対策施設

5

農林水産業の補助金等を目的別に支出しているが、適正に事業が実施されているか検証し、産業の育成拡大に役立つよう当初予算に反映されたい。

回答 事業実績及び効果を確認し、必要に応じて補助団体等と協議意見を聞き産業の育成・拡大に資するよつ内容等を検討する。

6 農林水産業は後継者不足が

喫緊の課題である。現況を把握して、新規就業者が生活できる計画を作成し、移住してもらひえる対策や募集方法等を検討されたい。

7

上下水道施設や道路・橋梁は老朽化などで計画的に修繕していくと思うが、大型車両の通行増加などを考慮し、現状にあつた計画を作成して長寿命化を図つた。

回答 マコアルを早急に策定し、職員の定期訓練を実施する。

8 教育委員会管轄下の施設や文化財の中で、観光振興に寄与できる資源を、観光まちづくり課と連携して、管理・運用方法を検討されたい。

回答 観光資源として活用し、一定の成果を得られる文化財については、連携して取り組んでいく。

③ 南越前町議会だより

主な議会活動報告

- **11月12日** 丹南地区市町議会議長会議員一同研修会が、鯖江シナティホテルで開催され、議長他13名が出席した。
- **11月14日** 議会議員の町内現地視察（今庄地区）を実施し、議長他13名が出席した。
- **11月16日** 嶺北町村議会議長会議員研修会が越前陶芸村文化交流会館で開催され、議長他13名が出席した。



嶺北町村議会議長会議員研修会

- **11月24日** 今庄住民センター落成式が開催され、議長他13名が出席した。
- **12月5日** 原子力安全対策特別委員会による「大飯原子力発電所視察」を実施し、議長他11名が出席した。
- **12月13日** 今庄スキー場安全祈願祭が同スキー場で開催され、正・副議長、産建厚生常任委員長他6名が出席した。
- **12月15日** 「水仙まつり開会式」が越迺公民会で開催され、議長・産建厚生常任委員長が出席した。
- **1月13日** 南越前町成人式が南条文化会館で開催され、議長他13名が出席した。



原子力特別委員会視察

- **1月18日** 県町村議会議長会全員協議会が開催され、議長が出席した。
- **1月25日** 県市町総合事務組合議会定例会が自治会館で開催され、議長が出席した。
- **1月30日** 南越消防組合及び清掃組合議会臨時会が越前市役所で開催され、議長他両組合議会議員6名が出席した。
- **1月14日** 南越前町消防出初式が、南条文化会館で開催され、正・副議長他消防組合議会議員3名が出席した。



- 11月～1月の主な会合**
- **11月21日** 町村議会議長全国大会及び豪雪地帶町村議会議長全員協議会が開催され、議長他13名が出席した。
- **12月4日** 11月7日、12月3日
決算特別委員会
11月14日
広報特別委員会
12月4日、1月17日、28日
- **1月23日** 1月23日
議会運営委員会
11月7日、12月3日
決算特別委員会
11月14日
広報特別委員会
12月4日、1月17日、28日

一般質問



加藤 伊平

一、並行在来線移管に伴う南条駅前広場の整備について

問 南条駅は通勤・通学・通院・

買い物など多くの人が利用している。

しかし、駅前広場は狭く、電柱や照明灯もあり、大型車両が回転できない状況である。朝夕のラッシュ時では大変混雑し、歩行者、自転車が行き来し危険である。

また、横断歩道周辺のバリケードは歩行者にとって障害物となつていて、移管後の並行在来線運営会社の経営安定と町民の利用促進を図る必要があると思う。電柱、照明灯などを移設し、町の玄関口にふさわしい駅前に整備したうじか伺う。

答 町長 並行在来線の收支は開業当初は、赤字が約8億円見込ま



南条駅前広場

れ、その額は年々増加すると推計されている。会社の効率的、安定的な経営に努め、通勤通学など利用者の維持・増加につながる利用促進策を沿線市町が地域と事業者とともに積極的に取り組まなければならぬ。

方策の一つが駅周辺の駐車場の整備やパーク＆ライドの推進である。南条駅利用者は1日平均348人とい、町内4駅で最も多く利用しているが、駅前広場・道路・歩道とも狭く、朝夕の通勤通学・道路・歩道も狭く、朝夕の通勤通学の時間帯

は大変混雑し、安全設備も老朽化しきる。

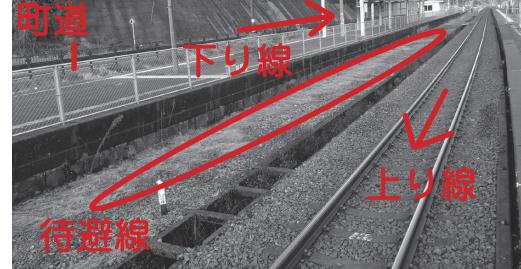
また、観光まちづくりの観点から、玄関口である南条駅を利用し、花バス公園などに訪れる観光客への配慮も必要である。駅前広場や駅南側の駐車場、空き地などを活用して駅周辺の一的な整備は、今後、町民の意見を聞きながら町総合計画の後期基本計画に位置付け、安全で安心して暮らしやすいまちづくりの実現に努める。

二、南条駅下り線付け替えによる駐車場整備について

問 南条駅には使用されていない待避線がある。こへ下り線を移らホームへ出入りできぬようにしたらどうか。関ヶ鼻・鰐波・西大道・東谷・清水の住民や王子保

期待でき、町西部の開発にもなる。敷砂利のある待避線に線路を引き、既存の門型柱に下り線用の架線を張れば、用地買収も要らず、効果は大きい。越前市は武生駅と王子保駅の間に新駅の

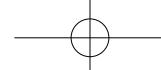
要望をしてくる。本町も町民の利便性向上と町の発展のため頑張って欲しい。



南条駅の西側

利便性に優れた南条駅を中心としたまちづくりと、人に優しい地域鉄道の利用促進に取り組んでいく。

線に敷設し、下り線に地下道を利用地面や技術面及び駅西口周辺駐車場の整備による効果など十分な調査研究が必要と考える。越前市が武生工業高校付近に計画している新駅は、「幹線鉄道等活性化事業費国庫補助」の採択要件を満たす」とや、整備費や維持管理費に見合う新たな利用者の増加が見込めなかなどを十分検証して、新駅設置の可否が判断される。南条駅下り線をはじめ駅西口の整備は、専門機関の調査を経て、事業費を算出するとともに、財源確保の見通しなどを総合的に判断する



《一般質問》



平泉 初男

一、公共施設の運営管理と今庄地区の観光について

問

本町の公共施設等総合管理計画では8箇所ほどが指定管理として運営されており、内、主なスポーツ・レクリエーション施設の指定管理先名と管理条件について伺つ。

答 町長 「南越前町公共施設等総合管理計画」は、住民の「一づくりに対応した行政サービスを将来にわたり、適切に提供し続けられるよう、本町の現状や課題を把握・分析し、公共施設等を総合的かつ計画的に管理することを目的としている。指定管理先は、（一財）町管理公社が21施設、越前健康開発（有）が1施設、（株）マックアースが3施設、（株）町ダイビングパークが1施設である。指定管理期間は、いずれも5年である。指定管理委託料などの条件については、担当課長が説明する。

答 観光まちづくり課長 町管理公社については、管理委託料は年度の收支決算に基づき支払う。10万円以上の施設修繕・工事・備品購入は、町が執行する。

次に、越前健康開発が管理する花はす温泉「そまやま」の管理委託料は、年間400万円。利益が発生した場合は、その43%を町へ納付する。50万円以上の施設の修繕・工事・備品購入は、町が執行する。

答 建設整備課長 例年、登山シーキー場など鉢伏山周辺の3施設については、管理委託料を支払っていない。利益が発生した場合は、その40%を町へ納付する。

答 観光まちづくり課長 観光施設の管理運営はシルバーハウスセンター等へ委託し、予算の範囲内で取り組んでいる。また、観光施設周辺の清掃は、不定期で関係団体の方にボランティア活動の一環として取り組んでおりしている。しかし、観光地周辺の環境美化活動の計画的な実施や、地域住民総ぐみでの活動は実施していない。

答 建設整備課長 例年、登山シーキー場など鉢伏山周辺の3施設については、管理委託料を支払っていない。利益が発生した場合は、その40%を町へ納付する。

答 建設整備課長 例年、登山シーキー場など鉢伏山周辺の3施設については、管理委託料を支払っていない。利益が発生した場合は、その40%を町へ納付する。

答 観光まちづくり課長 観光施設の管理運営はシルバーハウスセンター等へ委託し、予算の範囲内で取り組んでいる。また、観光施設周辺の清掃は、不定期で関係団体の方にボランティア活動の一環として取り組んでおりしている。しかし、観光地周辺の環境美化活動の計画的な実施や、地域住民総ぐみでの活動は実施していない。

答 建設整備課長 例年、登山シーキー場など鉢伏山周辺の3施設については、管理委託料を支払っていない。利益が発生した場合は、その40%を町へ納付する。



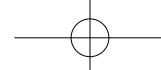
問 観光に力を入れていくのであれば、現状を把握して、観光地や観光施設周辺の環境美化活動

答 観光まちづくり課長 観光資源の保護にもつながる。今後、府内関係課や関係団体と協議し、観光地の環境美化活動の具体的な取り組みについて検討していく。

10万円以上の施設修繕・工事は、町が執行する。

答 観光まちづくり課長 現状と対策について伺ひ。

答 観光まちづくり課長 観光施設の管理運営はシルバーハウスセンター等へ委託し、予算の範囲内で取り組んでいる。また、観光施設周辺の清掃は、不定期で関係団体の方にボランティア活動の一環として取り組んでおりしている。しかし、観光地周辺の環境美化活動の計画的な実施や、地域住民総ぐみでの活動は実施していない。



《一般質問》



高橋 宏介

一、セイタカアワダチソウの現状について

問 セイタカアワダチソウは、根の持つ毒素によつて在来種を枯らす要注意外来生物である。町内全域に繁殖しており、町の景観を損なうとともに、観光客が悪いイメージを持つ恐れがある。人口増加対策、住みよい町づくりのためにも自然環境の整備は、大変重要な課題だと考えます。町内の繁殖状況と考え方を伺つ。

答 町長 外来種であるセイタカアワダチソウは、生態系被害防止外来種リストの植物である。県の調査によると、本町の繁殖状況は約300箇所で確認された。県では「福井県環境基本計画」において「外来種の野外からの駆除や被害予防を進め、本県固有の自然を守ること」としてござる。県と



群落するセイタカアワダチソウ

住みよい町づくりのためにも自然環境の整備は、大変重要な課題だと考えます。町内の繁殖状況と考え方を伺つ。

答 建設整備課長 セイタカアワダチソウの防除方法については、地下茎ごと抜き取ることが効果的と言われている。しかし、分布が広範囲であることや、官地民地に侵入しているため、対応については、有地であるため、対応については、官民一体で取り組むべきと思つが所見を伺つ。

問 休耕地に繁殖しているセイタカアワダチソウは、農業に悪影響を及ぼしている。休耕地はほとんどが私有地であるため、対応については、駆除を強く求めます。

答 農林水産課長 休耕地や農地の駆除は、基本的には所有者個人の対応と想えます。しかし、個人対応では限界があるので、困難な場合は、農地保全の観点から、多面的機能支払交付金や中山間地域等直接支払交付金を活用し、地域ぐるみでの駆除をお願いしたい。

問 歩調を合わせながら、町田ぐるみの対応を推進する上とが重要と考えている。

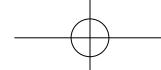


河川敷に関しては、地域をつなぎ河川環境づくり推進事業により、集落活動に対しても助成している。活動頻度や範囲の拡大を呼び掛けるとともに、河川管理者による草刈りについても引き続き要望していきたい。

問 レインボーパーク南条内のマップルゴルフ場は、管理の行き届いたすばらしい施設だと思います。しかし、利用者が少ないのが残念に思ひます。2021年には、近くに道の駅が開業予定だが、どう連携させていくつもりか。また、利用者から印象が少ないと聞いています。日除けを作成予定があるか伺つ。

答 町長 利用促進についてはマップルゴルフ協会の協力を得ながら、大会誘致など競技人口の拡大に努める。また観光資源として他の観光施設と連携を図り、誘客に努めていく。さらに、南条SAに訪れる方々の散策スポットとして情報を発信する。休憩を目的とした日除けなどの工作物の設置については河川管理者の許可を必要とするので、指導のもと適切な整備を検討し安全安心な施設づくりに努めています。

二、レインボーパーク南条のマップルゴルフ場の利用拡大について



《一般質問》



熊谷 良彦

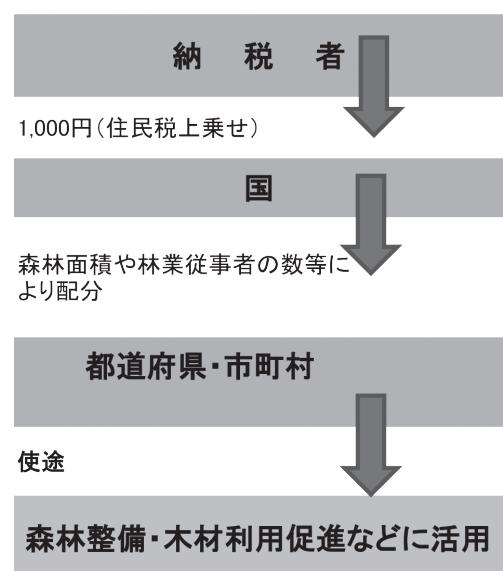
一、森林環境税と森林環境譲与税及び森林經營管理法の概要と今後の運営について

問 森林環境税と森林環境譲与税の創設経緯と仕組みについて伺う。

答 町長 森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保するため「森林經營管理法」の制定により、市町村が自ら管理を行う「新たな森林管理システム」が創設されたことによるもの。仕組みについては担当課長から説明を受ける。

答 農林水産課長 森林環境税については、森林整備のために国民一人一人が分担して、森林を支える仕組みである。一人当たり年額千円を徴収することになる。森林環境譲与税は、森林環境税の収入額の全額を国から9割相当額が市町へ、1割相当額が都道府県に交付される。配分基準は、私有林人

森林環境税イメージ図



問 森林經營管理制度の活用方法について伺う。

答 町長 森林經營管理制度は、森林經營管理制度に基づいて、森林經營管理制度の活用方法について伺う。



本町としては、森林環境譲与税の活用及び森林經營管理制度を運用しながら、

當計画が未策定の森林で、所有者自ら管理することが困難な場合に、所有者に代わって、市町村や林業経営者が、経営や管理を行う新たな仕組みである。

市町村は「經營管理権集積計画」を作成し、同意が得られれば、市町村に經營管理権が設定され、森林の經營管理が委託される。經營権を設定した森林内の、林業經營に適した森林について

ば、市町村に經營管理権が設定され、森林の經營管理が委託される。經營権を設定した森林内の、林業經營に適した森林について

ば、市町村に經營管理権が設定され、森林の經營管理が委託される。經營権を設定した森林内の、林業經營に適した森林について

森林の維持及び林業の活用化に繋げたい。

問 地域林政アドバイザーを雇用すべきと考えるが、所見を伺う。

答 町長 町に「森林經營管理権」が設定された場合は、能力ある林業経営者に森林の經營管理を任せることも、また、町が經營管理を行なうこととなる。

町職員には、林業の専門職員、技術職がないので、森林・林業行政をサポートしてくれる「地域林政アドバイザー」

は、意欲と能力のある林業經營者に「經營管理実施権」を設定し、森林の經營・管理を任せることができる。将来的には「地域森林アドバイザー」の採用について検討したい。



山本 徳郎

一、病児・病後児保育施設整備について

問 本町には、病児・病後児保育施設がない。今後、町内の医療機関を利用して病児・病後児保育施設を整備する考えはあるのか伺う。

答 町長 本町には現在、病児・病後児保育施設はなく、越前市の野尻医院や鯖江市の公立丹南病院に病児デイケア事業として委託している。平成29年度は、12名が延べ31日利用しており、町から約14万円を支出している。また、町内園児が保育途中に発熱や体調不良が発生した際には、保護者に迎えに来てもらっている。

病児・病後児保育施設は、子育て支援の観点からも、町内の設置が望ましいと思つ。今年度実施する「子供・子育て支援事業計画策定」に係る「一ヶ年調査」にて保護者の要望を把握し、保護者の通勤状況で応援してくれた町民のお陰で、無

や広域的な利用頻度など総合的に評価をしながら、協議・検討を進めていきたい。

二、福井国体、障スポを終えて

問 今大会は、国体と障スポの「融合」を掲げ、新しい姿を示す大会となりた。国体遺産（レガシー）を今後の町づくりにどうのよ

うに活かすのか。

また、大会期間中の活動の中で得られた成果や反省点を、「健康長寿の町づくり」にどのように活かすのか所見を伺う。

答 町長 50年ぶりとなる「福井しあわせ元気国体」が開催され、本町においては、正式競技として軟式野球、デモンストレーションスポーツ、ソフトアーチャーショットゴルフ、ソフトバレーボール、還暦軟式野球を実施した。

ボランティアの皆様やこれまで形で応援してくれた町民のお陰で、無

事大会を終えたことができ、感謝している。また、福井県全体としても、完全優勝という輝かしい栄誉を手にあげることができ、県民の自信と誇りに繋がったものと実感している。

答 教育長 福井しあわせ元気国体については、本町出身選手として、水泳に3名、水球に3名が出場しては、陸上・バレー・ボール・サッカーの競技に合わせて5名が出場している。



障スポについては、陸上・バレー・ボール・サッカーの競技に合わせて5名が出場している。国体の成果については、ハード面は、桜橋運動公園野球場を全国大会レベルの規格に整備されたことである。国体を通じて得たスポーツに対する機運を継続していく、スポーツに親しむ、楽しむ、育てるといったことが実現できる環境づくりに取組んでいくことが重要であり、引いては町民の健康寿命延伸に繋がるものと期待している。

また、当大会場内で小中学校児童生徒による応援や、おむすなしコーナーでのおひ鍋やおひしんび、ジビエ料理を無料で配布し、県外の多くの来場者から称賛の声を頂いた。試合の合間にには、保育園児による「ぱづねあたっく」が披露され賑わいがもたらされた。



山本 優

一、集落活性化支援事業について

問

住民が生きがいを持って生活するためには、リーダーの育成が課題である。支援策について伺う。

答

町長 町では、集落活性化計画に基づき「担い手の育成」「小規模・高齢化集落の機能維持」「地域に応じた活性化策」などの施策を推進してます。

具体的には、「集落担い手育成事業」「サポート集落認定活動事業」すみ。概要は各担当課長が説明する。「地域公共交通活性化事業」を実施する。活動事業では、環境整備、資源保全、福祉、防犯など地域の問題解決や歴史文化の継承など連帯感の醸成、さらに、集落活動が困難な集落に対して、サポートする仕組みづくりを検討してます。

答 観光まちづくり課長 地域交

通活性化事業では、高齢社会において安心して外出できる交通安全確保を目指し、検討委員会を設置して近く、提言書を提出する。

答 教育長

元気な集落を目指し、住民同士が強い団結のもと「集落の絆」を復活させたための人づくりやリーダーの育成を推進していく



集落運動会の様子

一、高齢者の交通事故減少対策について

問 本町の高齢化率に伴う交通事故の現状は担当課長が説明する。

答 町長 町の高齢化率は34%で国や県平均を上回るペースで進んでいます。高齢者の交通事故は運転中より歩行中が多い。町内の交通事故の現状は担当課長が説明する。

答 総務課長 11月までの町内での事故は、219件で、人身6件、物損213件。人身事故の内、夜間横断中の死亡事故が1件あった。事故に占める高齢者が当事者となる比率は約23%で、その内事故を起した側

が58%、遭った側が42%です。

問 道路などハード面の安全対策について伺う。

答 町長 高齢者が事故に遭わない

よう地域ぐるみで取組みを展開し、反射材の配布、歩道や防犯灯の整備、危険箇所の現地調査を実施し、交通安全施設検討委員会で検討してます。

各年度8集落から各3名程度募集し、4年間で100人程度養成する予定。今年度は講座の目的、内容などを説明し募集を行なう。

答 総務課長 ふれあいサロンなどについて伺う。

に職員を派遣し、交通安全の話、免許証自主返納の方法などを紹介している。また、運転者向け講習会の開催やケーブルテレビなどで普及啓蒙に努めている。

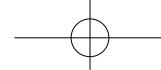
問 高齢者の免許証自主返納状況について伺う。

答 総務課長 29年度までの7年間で1388名が自主返納している。返納者は、タクシー利用券1万5千円分を10年間交付、住民利用バス無期限無料乗車券を交付している。29年度以前の返納者との年間同じ支援を受けたことがわかる。今年は11月末までに146人に32名が返納している。

答 意見 免許証返納は一生に一回の事があるので、制度と支援を周知あるとともに、交通手段の確保など公共交通機関の整備と充実を図つていただきたい。



返納後交付を受けられる証明書(イメージ)



《一般質問》



11#

秋田 重敏

一、旧北陸線トンネル群の取組と対応について

問 旧北陸線トンネル群が平成28年に国登録有形文化財に指定され、昨年「長浜市・敦賀市・南越前町観光連携協議会」を設置し、鉄道遺産をテーマにした周遊滞在型観光事業に取り組んでおり、来年度の日本遺産への認定を目指してこれまでに取り組みと今後の対応について伺う。今日までの取り組みと今後の対応について伺う。

答 町長 今年3月に敦賀市で長

浜市・敦賀市・南越前町観光連携協議会主催で「光り輝く鉄道遺産はみんなの宝」と題した鉄道遺産活用シンポジウムの席上で、国登録有形文化財の旧北陸線トンネル群の日本遺産認定を目指すと呼びかけをした。このトンネル群を含む鉄道遺産が日本遺産に認定されれば、大きな経済効果が期待でき

る。3市町が協力して日本遺産認定に向けて取り組んでいた。

日本遺産は、2020年度までに100のストーリーが認定される予定で、現在67が認定されている。これまでに認定には3市町の際立った歴史的特徴・特色を示すものや、日本遺産という資源を生かした地域づくりについて将来像と実現に向けた具体的な方策が適切に示されている等が審査基準となる。

文化庁内の「日本遺産審査委員会」の結果を踏まえて認定され、来年4月下旬頃発表予定で、1月までに申請する予定である。

問 旧北陸線の山中トンネルの入り口に高さ制限板の設置や、上部の扁額が剥



山中トンネル入口

れ、長浜市の鉄道スクエアに展示されている。鉄道遺産を活かしたまちづくりを進める上で山中トンネル周辺は象徴の一つであり、

がされたりして景観を損ねている。特に扁額が剥がされたといふは違和感があるため、扁額レプリカの設置が必要と考える。さらに、トンネル手前には信号所跡、スイッチバックの引込線等が現存するので、周辺整備も必要と考えるが町長の所見を伺う。また、地域ボランティアの活動状況についても伺う。

答 町長 高さ制限バーが山中トンネルの撮影の支障になり、国登録有形文化財として景観上好ましくない状況にある。また、当時の通信大臣の黒田清隆の書である「徳垂後裔」の扁額が撤去され、来年4月までに申請する予定である。

意見 周辺は遺構も多く残つており、早急に検討願いたい。また、名の知れた廃線トンネル群である愛岐トンネル・碓氷峠トンネル群があり、旧北陸トンネル群を併せて「日本の三大廃線トンネル群」として関係自治体と連携すれば地域の活性化及び経済効果も期待できるので検討してもらいたい。

がされたりして景観を損ねている。特に扁額が剥がされたといふは違和感があるため、扁額レプリカの設置を重要要望事項として申し入れた。山中スイッチバック周辺の整備も県の支援を得ながら積極的に取り組んでいた。

答 観光まちづくり課長 旧大桐駅跡地は、大桐区による草刈りや、D51の動輪を南福井駅から譲り受け設置するなど取り組みを行っている。また、今庄観光ボランティアガイド協会は、旧北陸線トンネル群を訪れる観光客への説明、山中スイッチバックの草刈り・空き缶拾いなどの環境美化及びおもてなし活動を行っている。今後も地域や関係団体と行政の役割を踏まえ、適切な支援を検討していく。



防護柵内の水仙収穫の風景

我々、河野水仙田
は、毎年、水仙栽培を実施してきました。
しかし、毎年、栽培する水仙の数が減り、
栽培面積も縮小する傾向にあります。
そこで、今年は、栽培面積を縮小し、
栽培する水仙の数を減らすことで、
栽培面積を確保する方針です。



新設ビニールハウスと大下組合長



健いだります。

今後は、地域活性化(つたかのめや)

家畜上水田や、振興のため多くの

協力。また、水仙畠での越前

水仙(露地)の復活を図ること

新たに販売なども検討します。

これまでの水仙栽培せ、初めての

栽培場所の開拓大成でせざるを得

じませんでした。一方で、水仙畠

を復活させるため、水仙畠の開拓

も、一歩進んだ形で実現されました。

議会を傍聴してみませんか
3月1日～3月18日

で、

次の議会は

3月1日～3月18日

で、

中学生の議会傍聴

3月1日～3月18日

で、

中学生の議会傍聴



荒波フェスタでの水仙PR

編集後記

ねたまつてねあんどうひ
「」

平成31年の新年をおめでたす
「」

迎えられぬ處ひ申し上げます。
また、12月定例会初日に南条中

学校一年生56名の生徒が傍聴に参
加しました。一般質問の時間は、11班

に分けて、20分程度の傍聴でした
が、生徒達は議会がどのようなものか
をしてくるのか直接耳聞え、

良い経験になつたのだなと思います
しようか。

県立した生徒の感想に『議会を
傍聴しました。田舎のたぬに道の
整備をやむのかな』の話しぐれ
を見て、とても田舎の力になら
としているなと思いました。』とあ
り、これを機会に田政や町議会に
少しども関心を持つていただきた
ひと時ですね。

平成30年を表す「年に『災』が
襲われましたが、2月の大雪から
始めて、豪雪、豪雨の日本全国で田
然災害の多い年でもありました。
迎えた新しい年は田舎である
年に願ひよくなつた。

河野水仙田の水仙栽培を取扱い、
水仙栽培畠の水仙を販売する一棟

町のホームページに「定例会会議録」が掲載されており、詳細をご覧いただけます。

議会事務局 <http://www.town.minamiechizen.lg.jp/tyougikai/>